

陸前高田で営業再開

俺っ家で海鮮昼食に舌鼓！

★金野静一先生の車中講話

『気仙夜話』

★陸前高田で営業を再開した

「公友館・俺っ家」で
海鮮昼食を愉しみながら、
店主の熊谷浩昭さんに
復興への抱負を伺います。

★竹駒神社、玉山金山跡、
大船渡市中心街を見学。



公友館・俺っ家と店主の熊谷浩昭さん

参加費：5,000円（昼食代含む）当日集金

平成29年
11月26日
日曜日

集合場所	出発	帰着
①盛岡駅西口バスロータリー	8:00	19:00
②西島産婦人科前	8:10	18:50
③歴史文化館前バス駐車場	8:20	18:40

参加申し込み 締め切り：11月20日

- ・電話、ファックス、はがき、ショートメールでお申込み下さい。
- ・必要事項【氏名、連絡先、乗車場所】

〒020-0022

盛岡市大通3丁目10番31-606号

陸前高田の復興を願う会 事務局 菊池孝育

電話（ファックス） 019-651-9443

携帯電話 090-8789-8391

PCメールアドレス tkic@js3.so-net.ne.jp

主催：陸前高田の復興を願う会

平成29年11月26日(日)

陸前高田を巡るバスツアー第4弾

行程

- 8時00分 盛岡駅西口発
- 8時10分 西島産婦人科前発
- 8時20分 中の橋際バス駐車場発
- 9時45分 宮守道の駅発 トイレ休憩
- 10時50分 横田川の駅発 トイレ休憩
- 11時40分 竹駒神社発 参拝(家内安全、商売繁盛等)と菅野官司のお話
- 12時00分 アパッセ商店街着、俺っ家で昼食 海鮮料理
歓迎の言葉 新沼薫さん
乾杯 金野毅さん
お話 熊谷浩昭さん ——津波からの再建——
お礼のこたば 参加者代表
- 13時30分 アパッセ商店街発
- 14時00分 慰霊碑献花、旧タピック震災遺構発
- 14時50分 一本松茶屋発
- 16時00分 大船渡中心街発
- 17時20分 宮守道の駅発 トイレ休憩
- 18時40分 中の橋際発
- 18時50分 西島産婦人科前発
- 19時00分 盛岡駅西口着、解散

留意事項

- I 金野静一先生による車中講話
- (1) 玉山金山のあらまし
- (2) 三陸物語夜話

II 昼食時のお飲み物代はお茶を除いて各自お支払いください。

5名の参加者の方に当日の様子をレポートして頂きました

- H：山田町で被災して現在は盛岡に住んでいます。震災後、陸前高田、大船渡には行ってないので見たいと思っていました。(盛岡市・60代・男)
- K：震災時はボランティアをしていました。震災後の陸前高田・大船渡へは行ってないので参加しました。(盛岡市・60代・女)
- S：被災地に貢献できるシステムの研究のため(大学4年生・男)
- U：被災地を見てみたいと思いました(大学院修士1年生・男)
- I：沿岸の現状を知りたいと思ったためです(大学3年生・女)

▶ 宮守道の駅(清流とわさびの里)

出発時雪振りでしたが乗車後雪もやみ、代表のあいさつ、自己紹介等で、休憩したくなり風にもあたり、丁度よくめがね橋上をJR列車が通過し、写真を撮り、道の駅のスタンプを押しました。(H) /道中の休憩所として立ち寄ったのだが、有名なめがね橋があったので見に行ったら、恋人の聖地のスポットだということを見発見しました(K)

▶ 横田川の駅

震災前1回、震災後初めて寄りました。世田米乗車の案内人(鈴木つよしさん)とは、アメニティ市民講座「街づくりわいわい塾」で会っている(1回だけ)。隣にすわったので挨拶をしました。竹林がところどころにあり(ヨコダ(万丈カゴ)の発祥の地より(H)

▶ 竹駒神社

菅野宮司の話があった。鉱山もって話してほしかった。場所とか近くまで行けるのとか等々、藤原清衡時代の金、豊臣秀吉、伊達政宗時代。お祭り(みこし)は6年に1回、ねずみ・うま年の1日2月の初午の日(H) /行基(8C頃か)が玉山金山を見つけたことにより開き、平泉も金1600年後期とれなくなり今の場所に移ったとのこと。古い神社ということはわかったが、私の勉強不足もあり実感がわかenかったので、少し歩いて金山跡も見てみたかった。(K) /参拝と菅野宮司のお話から竹駒神社と高田の関わりについて学ぶことができた(S) /金山の守護神としていたが、採掘の終了とともに、現在の場所に移された。神社裏手にあるご神木が、ブロッコリーに見えたのは私だけ?(I)

▶ アバッセ商店街

「俺っ家」の食事を海鮮料理とかいてあったので期待しましたが、カキ1ヶ、野菜だけでした。1人1人の食事がよかった(H) / 商店街各店舗については、自宅の近くのスーパー(マイヤ青山店)と比べると、高いのあり、安いのありですね。住宅から車がないと大変と思った。高齢者には大変ですね。住宅再建、土地造成まだまだです。がんばっているでしょうけど、震災後6年すぎ、これ位しか進まないのだと思いました。(H) / 「俺っ家」で昼食時、被災者の方が93才で津波の被害にあったが今は一人で「生き生き」と生活していることには驚かされた。食後、約40分自由時間があったので海を見に20分ぐらい歩いたがたどりつけず。工事が進んでいない。海が見えないという点で、絶望的な気分になりました(K) / 震災前から大きく景色が変わり、新しい風景が広がっていました(S) / 約14mかさ上げされた所に立っているらしい。商店街の周りがかさ上げ中の工事現場が広がっていた。「俺っ家」で昼食、カキ鍋初めて食べました、凄かった。(I)

▶ 震災遺構「タピック45」(旧：道の駅高田松原)

皆で献花、黙祷する時間があったことは良かった。ここも海見えず。(K) / 献花役に任命され献花を行いました(S) / 東日本大震災の凄惨さを感じることができた(U) / 道中、去年通った道が通れなくなっていることに気づいた。被災した建物に津波到達地点が記されていて恐怖を感じた。(I) / 献花の写真をとりました(H)

▶ 一本松茶屋

一本松、気仙川の門び、何万本の松林、住宅にぶつかったでしょう、白砂青松、がんばってください(H)

▶ 奇跡の一本松

土やコンクリートを運ぶベルトコンベアーが無くなり、全体の見通しが良くなっていた。一本松の前に「コース木ステル」があり「松」が残ったのか。この近辺もまだまだ。(K) / 何万本の松の中で、1本だけ残ったということで、木々の生命力を感じた(U) / 実際に見るのは初めてでした。力強いパワーを感じました。(S) / 一本松の真下までくると、後ろの建物や近くの道路は当時のまま壊れていて、この一本松が流されなかったことがどれだけ凄いことかを実感した。(I)

▶ 大船渡中心街

浜からかなり高い(45号線)道路まで津波がきて破壊されたというが、修繕されバスから見る町は依然と同じに見えたが浜の近くはかなりの被害だったようだが商店街ができにぎわっていた。ここで30分自由時間だったようだが海を見に15分でやっとたどりつきました。(K) / 父親の実家が大船渡ということでよく見ていたので町並が変わっていて感動しました。(S) / 陸前高田に比べれば進んでいます。マイヤ・専門店街、盛岡と同じです。(名前 川徳,メガネ,幸楽苑(ラーメン)等々)。水産会社、“魚市場”、小野田セメントの___、木村恵喜さんの本と現実、くらべていました。もう少し時間がほしかった。(H)

その他、今回のイベントに参加してみたの感想等

- 特に印象に残っていることは？

陸前高田はいつ元に(復興)もどれるか、土のかさあげができていない、海が見えない(高い建物に登るとみえるのか?)。仮設の役場のそばに立派な災害公営住宅ができていたが、空き家が多いとのこと。今後どうなっていくのか?(K) / 大船渡や高田の町並が変わっていたこと。今度もう一度自分で行ってみたいと思った(S) / 金野先生の車内の講話であった、三陸の由来とかもめの玉子について(U) / 現在は撤去されているが、陸前高田でのかさ上げのための土を運ぶために巨大なキャタピラみたいなものを繋げて、効率の良い土運びをしていたことに驚いた。あばっせ盛岡からみた旧高田市街、JRの駅、市役所、病院、どこがどこだかわかりません。又、14mのかさ上げ、災害公営住宅の入居率(60%)案内人の説明から分かりました。もともと「東日本大震災 被災と復興と(岩手県気仙地域からの報告)」をちょっと読んで興味がありました。(H)

- 本日のようなフィールドワークが開催された場合、人に勧めたいですか？(一つに○印)

勧める : 1人 (S)

どちらともいえない : 3人 (U・I・H)

勧めない : 1人 (K)

- 上記に○をした理由を詳しくお聞かせください

高田について詳しく知りたい人は、金野先生のお話はとても勉強になると思った(S) / 視察としては良かったが、被災地学習としては、物足りなく感じたため(U) / 被災地を視ることにっては良かったが、説明してくれる人が欲しかった。(I) / 沿岸関係の人以外にうまく説明できていないから(H) / 説明がもの足りない(K)

- 本日のバスツアーに対する率直なご意見・ご感想をお聞かせください
 まだまだあれば進んだところもありますが、産業・観光、その他各部門でがんばって下さい。特に水産業、サンマ・イカ・鮭、の不漁。小マグロの問題、自然界とうまくつき合っていかなければならないです。(H) / 陸前・大船渡の復興状況が気になっていたので行けて良かった。今回の催しを知り、震災前に住んでいた人に会いに昼食の店までたくさんの方がかけつけてくれた。凄い！数十年ぶりに会いに来た人や、そこでたまたま知りあいもいたり、人の和は素晴らしい。(K) / 出された昼食が満足ではなかったもので、機会があれば違うメニューを食べたいと思った。(S) / 初めて、このようなツアーに参加したため、他のツアーとは比較できないが、被災者のお話を聞ける場面があってもよいと感じた(U) / 当時の話や現在の復興の取組・状況を説明してくれるガイドが欲しいと感じた。(I)
- その他、何かございましたらご記入ください。
 復興支援センターの前田さん、県立大の学生諸君、Kさん、お世話になりました。復興応援、陸前高田の街、参考になりました。バスツアー復興支援センターとセットにして盛岡近郊の陸前高田ゆかりの人達、現地の人達、参加する人達、勉強になりました。(H) / 金野静一先生、新沼薫さん(歓迎のあいさつをしてくれた人)、お二人とも93才とのこと、私も元気な年寄りになりたい。私のできる範囲で勉強、現地視察をしたい。(K)
- 本日のバスツアーの評価は？
 評価できる : 0人
 まあ評価できる : 3人 (S・H・K)
 どちらともいえない : 2人 (U・I)
 あまり評価できない : 0人
 全く評価できない : 0人
- 上記の理由
 / 陸前高田にゆかりの方々(震災支援センター前田さん)タイアップしてすごいですね。金野静一さん、金野つよしさん、新沼さん、IBC前社長(盛岡と現地) (H) / 金野先生等に説明していただいたが山田町のような「ガイド」専門の話ではないのももの足りない(K) / 大船渡・高田は震災前にも訪れたことがあり、景色の変化を実感することができた(S) / 前回、前々回のツアーと関連しているものが多く、今回のみの参加では、流れを理解できなかったため(U) / 地元出身の方々は盛り上がっていたが、正直話についていけなかったから。(I)